

暮らしの場における看取り支援事業 講演会・専門職セミナー（案）

1 コンセプト

(1) 第1部（都民公開講演会）

都民に対し、在宅や施設等の住み慣れた暮らしの場での看取りが可能であることを知ってもらうとともに、自らが最期をどのように迎えたいかについて考えるきっかけとする。

併せて、看取りを行う立場となる医療・介護関係職種に対し、身近なところでの実践事例に触れてもらうことで、看取りに対する意識の醸成を図る。

(2) 第2部（専門職セミナー）

医療・介護関係職種に対し、身近なところでの実践例に関する詳細な取組内容等を紹介し、具体的なイメージを掴んでもらうとともに、看取りを行っている医療・介護関係職種の実際の声を聞いてもらうことで、今後の取組参入の足掛かりとしてもらう。

2 実施概要

(1) 第1部（都民公開講演会）

場 所：都内4か所（多摩部2か所、区部2か所）

日 程：平日午後、平日夜、休日午前及び休日午後の時間帯に1回ずつ 計4回

所要時間：2時間程度

参加者：都民及び医療・介護関係職種 各回100名程度

内 容：在宅における看取りについての基礎的な内容

(2) 第2部（専門職セミナー）

（場所、日程については、（1）と同様）

所要時間：50分間程度

参加者：第1部に参加した医療・介護関係職種

内 容：医療・介護関係職種の今後の取組参入の足掛かりとなるような内容についての事例報告・質疑応答。平成28年度研修への参加の呼び掛け。

3 プログラム

(1) 第1部（都民公開講演会）

ア 基調講演（45分）

「住み慣れた場所で最期まで暮らし続ける」

高齢になって病気等で入院したとしても、最期は暮らしの場に戻ることができることを、制度・仕組みの面から紹介するとともに、自分自身の最期をどのように迎えたいかについて考えることの重要性を伝える。

演者：看取りを実践している在宅医

イ 講演会 (60分)

(ア) 講演 (30分)

「ご家族の立場から経験した看取り」(30分)

実際に看取りを行った家族の講演。最後に看取りを行った医師からのコメント。

(イ) パネルディスカッション (30分)

在宅における看取りについて

パネリスト：上記(ア)で講演した家族と、実際に看取りを支援した医療・介護関係職種(医師、訪問看護師、介護職)

…専門職セミナー参加者以外退室…

(2) 第2部(専門職セミナー)

ア 事例報告 (20分程度)

医療・介護関係職種向けに、サービス提供者の観点での事例報告を行う。

イ 質疑応答 (30分程度)